

令和 3 年 3 月 22 日

関係国公立大学長
関係研究機関の長 殿
海外関係研究機関の長

千葉大学大学院園芸学研究科長

教員の公募について（依頼）

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃は本研究科の教育研究にご支援、ご協力を賜り心より御礼申し上げます。

さて、本研究科では、下記のとおり教員を公募することにいたしましたので、ご高配のほどお願い申し上げます。

敬具

記

1. 公募の対象分野

- (1) 職種，公募人数 大学院園芸学研究院植物生命科学講座
助教（テニュアトラック制。任期 5 年*） 1 名
*採用後，テニュア獲得のため，期間中の 3 年目に中間審査，
5 年目に本審査が実施されます。
- (2) 主要な担当予定授業科目
 - ・博士前期課程（園芸科学コース応用生命化学領域）
特別研究 I，特別演習 I，応用生命化学特論（分担）
 - ・園芸学部（応用生命化学科）
分析化学（分担），生物物理化学（分担），
応用生命化学セミナー（分担），生物有機化学実験（分担），専攻研究
 - ・普遍科目
基礎化学 A（分担）

2. 応募条件等

- (1) 博士の学位を有すること（又は着任時まで取得見込みであること）
- (2) 着任予定 令和 3 年 10 月 1 日
- (3) 募集する講座と教育研究領域

園芸学研究科は令和 3 年 4 月 1 日に新たな教員組織として園芸学研究院を立ち上げ、研究領域として新たに 5 つの講座を設置する予定です。今回募集を行う植物生命科学講座は、植物の持つ新たな機能や成分を発掘するとともに、品種改良やバイオテクノロジーによる有用物質の生産や高機能性植物の創出に向けた技術開

発を推進します。また、ゲノム編集技術や植物工場も活用し、オーダーメイド品種の開発や機能性試験までを一貫して行います。

一方、教育領域である応用生命化学領域では、生命の営みに関わる物質とその動態を探求できる知識、理論、技術を基礎に置きながら、生物や食品の機能解析、代謝生産物、情報伝達分子などに関する基礎・応用研究を進めることにより、食糧問題、資源問題、環境問題、感染症など人類が直面する様々な問題を解決することを目指した教育研究を行っています。

(4) 求める人材

現在園芸学研究科では先端園芸技術実装拠点構想を掲げており、新しい食材・医薬用原料の開発、評価、実用化を医園連携で達成し、健康・予防医療に貢献することを目標の一つに設定しています。本公募では、植物が生産する配糖体・脂質等の二次代謝産物から機能性分子の発見、もしくはこれらの高機能化について、分析化学を主とした分子化学的アプローチによって実用化を見据えた研究を医薬系機関等と連携して遂行するとともに、大学院・学部での教育と研究指導を熱意と誠実さをもって行っていただける方を求めています。

さらに、園芸学研究科園芸科学コースならびに園芸学部応用生命化学科に関連する専門科目および共通基礎科目の教育も担当していただきます。授業は日本語で行っていただきますが、いくつかの担当科目は英語で実施することになります。また、大学のその他の管理運営に対しても積極的に関与していただくことが求められます。女性・外国人の応募を歓迎します。

3. 応募書類（原則として返却しません）

- (1) 履歴書 2 通
- (2) 研究業績目録 2 通
- (3) 論文の別刷など学術論文・著書の代表的なもの 10 編以内 各 1 通（複写物可）
- (4) 教育業績調書 2 通
- (5) 特記事項など（科研費採択実績、その他外部資金取得実績等を記載してください）
- (6) 現在までの教育研究の概要と今後の教育研究上の抱負（2,000 字程度） 2 通
- (7) 応募者の人物像をよく知る方 2 名のお名前と連絡先を記載してください。

4. 応募期限

令和 3 年 5 月 20 日(木)必着

5. 応募書類の送付先および問い合わせ先

千葉大学大学院園芸学研究科園芸科学コース応用生命化学領域長 江頭祐嘉合

〒271-8510 千葉県松戸市松戸 648 番地

電話 047-308-8861 E-mail: egashira@faculty.chiba-u.jp

(注：書留による郵送が望ましいが、配達記録が残る宅配便もしくは EMS 等も可。封筒の表に「応用生命化学領域応募書類在中」と朱書きしてください。その際、応募書類の PDF ファイルを保存した CD-ROM を同封してください。)

園芸学研究科および当該領域の概要については、ホームページを参照してください。

(<http://www.h.chiba-u.jp/index.html>)

6. 応募書類の作成要領

(1) 履歴書 学歴は高校卒業から記入し、外国における留学および研究は、原則として 6 ヶ月以上滞在の場合を記入してください。

(2) 研究業績目録

1) 原著論文

a) 学会誌や学術誌などでレフリー制度のあるもの

b) その他の論文・・・大学の学術報告、研究会誌、試験場報告、シンポジウムなどの掲載論文

2) 著書および訳書・・・単著と共著を区別し、共著は分担部分を明記してください。

3) 報告書

4) 総説・資料・書評など

5) 普及・実用記事など

6) 学会・研究会・講演会・シンポジウム・セミナーなどでの発表・・・最近 5 年間の発表で、講演要旨集などに収載された主要なもの 10 編以内（ただし、発表の総数をこの欄の最後に、ほか□□編と記入してください。)

7) 計画・設計

8) 特許など

9) 資格・技術

(3) 教育業績調書：これまで担当したことのある授業科目、実験指導など（学部、大学院その他）があれば、その一覧（ポスドク時の実験指導も含む。)

(4) 特記事項など（様式は問いませんが、別紙の A4 用紙に項目別に整理して記入してください。)

履歴書・研究業績目録・教育業績調書については、所定の様式を千葉大学大学院園芸学研究科ホームページ

<http://www.h.chiba-u.jp/sitemap/teacher/format/index.html>

からダウンロードして作成してください。

7. 勤務形態 任期付き常勤職員

8. 待遇 給与は年俸制とし、本学給与規程（※1）により決定されます。また、テニユア獲得後も年俸制（※2）が適用されます。

※1 国立大学法人千葉大学職員給与規程

※2 国立大学法人千葉大学新年俸制職員給与規程

<http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/announce/index.html>

なお、初年度にスタートアップ経費が予算措置されます。女性教員の場合は「理系女性教員採用支援事業（千葉大学）」により、この経費が増額されます。

9. その他

- (1) 来学して面接およびセミナーをしていただく可能性がありますが、旅費は支給されません。
- (2) 関連業績について、追加の資料提出を求める場合もあります。

以上